



Iさん

家族でファミリーホームをされており、
長期、短期、一時保護を合わせて、
約180名の子どもたちを預かってこられました。

登録理由を教えてください

夫婦、娘夫婦とその子ども3人です。

そこへ 以前委託していた男の子が自立した後、スタッフとして4月から帰って来てくれました。

家族構成を教えてください

私の生き立ちが関係しています。

私が小3の時に父を亡くし、小さい時のことですからさほど記憶にはありませんでしたが、寂しくて毎日泣いていました。

その後、時が流れるのと同時に記憶が薄らいでいきましたが、中学生になった頃に、周りの人との違いを感じ始めました。無意識に年上の男性に対して、とても緊張するようになりまして。どうしてだろうと悩みましたが、きっと父親との生活体験が薄いからだ、自分の中で答えを見つけました。

そんな中、知り合いの紹介で里親の研修を受けることになりました。研修の内容は、ひとり親家庭の現状でした。私と重なるところがあり、興味深く聞きました。

子どもたちは、ひとり親家庭の辛さを自分の力で埋めることができないという現実を知りました。そういう子どもたちの父親体験を、私の存在で十分に感じてもらおう、そういう思いで登録に至りました。

子どもを迎え入れた時の様子を教えてください

どの子どもも初めはとても緊張しています。

よくわかるのが、食卓に座った時に「何が好き?」「何が嫌い?」と尋ねると、たいてい食卓に出ているものを指差します。自分の思考が停止するくらい緊張しているので、まずは娘と一緒に漫才をして場をやわらげ、気持ちを解きほぐすようにしています。

2か月くらいはお利功さんですが、その後から個人差はあるものの、試し行動が始まってきます。試し行動があった時は、その子に応じて、抱っこをしたり、話を聞いたりして対応します。

また、両親離婚後母親が病気で亡くなり保護された中1の男の子は、誰もいないところで私と2人きりになると、猫のように甘えてきました。高1になってもしています。甘えに対してはとことん受け入れます。

委託されたら必ず、学校まで一緒に歩いてみるようにしています。その道筋で「お前のことは絶対に守るからな。安心して大丈夫だからな。」と話をします。学校に行かない子であれば、一緒にお風呂に入るなど、2人の特別な時間を作ります。

子どもを迎え入れてから何か生活の変化はありましたか

一番下の娘が20歳を過ぎた頃に初めて里子が来ました。

小学1年生で来たため、意識をして可愛がっていると、一番下の娘が精神のバランスを崩しました。「お父さんたちは私のことをそんなに育ててくれんじやったでしょ。なんで〇〇ちゃんだけ・・・」と赤ちゃん返りのようになっていた。それに対して特別な対応はせず、娘が自分で気持ちの整理をつけていくのを待ちました。

自慢話になりますが、自信をもって育てた作品(娘)なので、いつかは気持ちをわかってくれると信じることができました。

里親になってから周囲の理解や関わりはどうでしたか

隣のご主人とは喧嘩をしました。里親になったばかりの時、隣のご主人が、入れ代わり立ち代わり知らない子どもが来ているな・・・と思っていたところ、他の人からどうも聞いたみたいで、「隣なのに水臭いじゃないか、子どもを教えてくれよ」と言われました。けれども個人情報なので伝えられないというやり取りを繰り返し、しばらくギクシャクしてしまいました。地域の方では、子ども会をつくりました。子ども会をすることによって子どもが来てくれるので、里子も一緒に遊べて交流を持つことができました。季節ごとに様々な行事を行うと、親と一緒に来て協力してくれたり、農家の人はお米を持って来てくれたり、漁師の人は魚を持って来てくれたりと、心をかけてくれました。

去年は裏の芝グラウンドを借り、130人近く集まって運動会を行いました。子ども食堂もしています。

実親さんとはどういった関わりを持たれていますか

一番深く交流したケースとして、母親が急遽亡くなったため、父親一人では育てられないとのことで委託された子がいたのですが、そのお父さんが児童相談所に、「僕は友だちがなかなかできないんですが、友だちができました。」と言いに来られたそうです。委託中はずっと我が家へ来てもらうことをお願いし、その際は一晩泊まってもらいました。高校の卒業式には、里父と実父と一緒に参加しました。

他にも我が家へ出入りされるお母さんは沢山います。私がいつも、「絶対取りはしませんから。」と少し冗談めいて笑いながら伝えます。「お母さんが頑張れるまで協力しますからね。」と勇気づけられるように言葉を掛けます。できれば全員の人と関わりたいのですが、事情によってできない人もいます。

今は、ここにいる男の子が両親共にいないので、寂しい思いをさせないようにその子が自立するまでは、我が家での他の親子の面会はしないようにしています。他の場所を利用してもらい、そこまで送迎をして可能な親子は交流をしてもらっています。

里子のとらえ方についてはどうでしょうか
家族の一員でしょうか。あくまで別の家庭の子どもでしょうか

隔てはしていないつもりです。つもりはつけておきます。

お孫さんと里子が一緒に生活することに対してはいかがですか

段落テ里子と私たちの関係が悪くなって委託解除されることはありました。

その際は大抵予想がつきます。

生活する中で、子どもの気持ちに無理が生じてきているな、ということが感じられます。

私たちはどんな場面でも子どもファーストで、子どもが良い方向になるための1ピースが里親であるという意識を持っているので、良くここまで頑張ってくれたな、と思うようにしています。

想定していないタイミングで委託解除になった時はありますか
その時の気持ちや切り替え方などを教えてください

孫と同世代の里子がどんどん委託されてきているので、その線引きはとても難しいです。

孫の一人が特性を持っているため、どうしても甘やかしてしまうのですが、その違いの理解が子どもには難しいと思うので、そこは今の課題です。特別視はしたくないですが、手を差し伸べたいことはあります。

巣立っていった里子との交流に感じることはどんなことですか

里親をやっていてよかったなと思います。その一言です。
本来であれば、我が子は自分の歳と同じように成長していきますが、里親をしていたら、次から次へと子どもが成長していき、そして慕って帰って来てくれます。それがとてもやりがいを感じることです。

支援状況や助かっていることについて教えてください

わからないことなど、何かあればその都度、児童相談所に尋ねています。

里親になった当初(実子の子育て)と
今との子育て観の違いはありますか

歳が変わったので、父親感覚からおじいちゃん感覚になりました。
子どもを見る目の余裕ができたと思います。
意識の変化もありますが、若い者(娘夫婦)が子育てに加わってくれることで、立場も変わってきました。
また、以前に市役所の福祉課の方が見学に来られた際、私たちが協力できることがあったら協力させていただきますと伝えました。子どもたちの社会性を育てるために、してもらってばかりの人生ではだめだと思ったからです。誰かの役に立つことで、社会性が育つと思います。いかにたくさんの経験を積んでやれるかを考えるようになりました。
少し言い辛いのですが、施設から来た子は、部屋の電気を消さないのです。トイレの電気も消さないのです。スイッチの存在を知らないのです。いつも全て職員がしてくれるから。そんなことになってはいけないのです。大人になるにつれて色々なことを身に着けていけるように今は意識しています。

大変だった出来事、嬉しかった出来事を教えてください

大変だった出来事は、調子に乗り過ぎて、どんな子でも預かるというモットーから、育成学校から来たお子さんを預かった時のことです。その子がやはり色々とトラブルを起こし、大人も子どもも憂鬱になってしまいました。その後、暴力をふるうことがあったため、児童相談所に相談し、入院することになりました。

嬉しかったことは、自立して帰ってきてくれたこの子(スタッフ)です。保護された際は、地元で有名な暴力事件を起こす集団に所属しており、こちらに来たときはすごい目つきをしていましたが、学校までの道のりで色々話することで、ニコッと笑ってくれるようになりました。今では社会に役立つことを考えるまでになり、それだけ人生が変わりました。正に自慢したい子どもです。

子どもは何を必要としていると思いますか

今は求めていると思います。

将来にすごく不安を抱えているのではと思うので、将来の夢やかたち、自分の進むべき道を示してあげ、自分の力をつけて自立してもらうことが、我々の使命だと思っています。

私たちの存在は、将来の自分の中の安心できる1つのピースだと思うのです。それを守ってあげることが必要だと思っています。

あとは、帰って来られる場所でしょうか。自立後、たまに帰ってくるとき、玄関からではなく、裏口から「ただいま！」と帰ってくる子どもがいるのです。それだけ自分の家だと思いたいのかな・・・と感じます。

里親制度への思いをお聞かせください

一時保護について、レスパイトが使えるようになれば、子どもや里親が共に安心できると思うのです。今の制度では、たった1日、2日養育ができないために里親が変わらないといけなくなり、せっかくの関わりが途切れてしまいます。

それともう1つ、一時保護について、ある里親さんがファミリーホームをしたいけれども、一時保護委託ばかりでファミリーホームを行う要件に達することができないのです。

この2つがどうにかならないかと思います。

里親に必要な資質はどんなことだと思いますか

自分はダメな人間なのだと思うことだと思います。

そう思えるから、アドバイスくれる人たちなどから吸収できると思うのです。自分は最高だ！と思ったら終わりだと思います。

子どもたちに対しても、これだけのことをしてあげているのだと思っているときは、おそらく有頂天になっている状態であって、本当にこの子たちは、これで良しと思っているのかなと問かけられる、それから軌道修正できる柔軟性があるかが大切だと思います。

里親に興味がある、なりたい人へのメッセージをお願いします

子どもたちが自分の人生を作ってくれるのです。

私の里親になった理由の結論がここに来るのです。

里親になることで、市役所の人や福祉の人など、様々な人と会うことができ、経験が増えたことによって、男性への緊張が減りました。

里子が与えてくれた様々な場面で、私は助けられました。

里親をすることによって、精神的なことを含めて、里子から助けられることがたくさんあります。

また、実子だけだと一緒に歳を取っていくだけですが、里親をすることによって、いつまでも若くいられますよ。